

## メタ認知を高める「振り返り」

## 児童が進んで「振り返り」を書きます！

児童が「振り返り」に自分の考えを書くためには、授業の中でより深く考える場面をつくるのが大切です。「学びあい」の中でよいと思う考えや、やってみたいと思う考えを自己決定させるなどの工夫により、どうして自分の考えを変えたのか等を「振り返り」に書くことができます。

振り返りのポイント  
となるキーワード

	記述内容	キーワード
E	特定の問題解決と感想や方略に関するメタ認知の記述段階	分かりました、難しかった、簡単だった、できました、知りました、今まで知らなかった
D	特定の問題の解決と結果についての理由など他者に関するメタ認知を記述した段階	～だから難しかった、～だから便利でした、～だから簡単だった、～だから間違ってしまった、～だから分かりやすかった
C	特定の問題に対する自己に関するメタ認知を記述した段階	よく忘れるので～しようと思います、気を付けます、注意します
B	特定の問題から疑問や類推や一般化を図るメタ認知も記述した段階	～もあるのかな、～もやってみたい、他にもないか調べてみたい、自分でも問題を作ってみたい
A	より一般的な問題に対するメタ認知が記述されている段階	算数が好きです、いろいろな算数の世界へ行ってみたいです、算数は新しいものをつくり出せるものだ

### コメントの視点

認める	児童の思いや考えを認め、受け止める	よくできたね、よくがんばったね、すばらしい
共感する	児童の思いや、考え、成長に共感する	なるほど、その通りだね、よいところに気付いたね
意識化	児童の考えの成功や失敗の原因や要因を意識化させる	こう考えたんだね、なぜ、うまくいったのかな、理由を考えてみよう、どうして間違えたのかな
方向性	次の活動の方向を示したり、アドバイスを与えたりして学習を広げさせる	こうやってみたらどう、前のノートを振り返ってみよう、困った時はどうすればよかったかな
広める	他の友達や他の考え方を示し、考えを深めさせる	～さんの考えはこうだったよ、こういう考えはどうか
深める	生活場面や学習したことをさらに深め、発展させる	今日の学習した～はどんなことに使えそうかな、～なことにも使えそうだね

「認める」「共感する」「意識化させる」「方向を示す」「考えを広めさせる」「考えを深めさせる」という視点で、コメントを書きます。